

平成 2 1 年 度

長期研修者研究抄録



鹿児島県総合教育センター

平成21年度 長期研修者一覧

番号	教科 領域等	氏 名 (勤 務 校)	研 究 主 題
1	理 科	鎌 田 正 樹 (鹿児島市立 郡山小学校)	明確な根拠を基に考え、適切に表現できる子どもを育成する理科学 習指導 －6年「水よう液の性質とはたらき」の学習を通して－
2	音 楽	肝 付 裕 子 (鹿児島市立 石谷小学校)	思いや意図をもって表現する音楽科学習指導の在り方 －イメージと「音楽を形づくっている要素」を関連付ける学習指導を 通して－
3	図画工作	吉 井 雅 彦 (さつま町立 求名小学校)	子どもが主体的に自分の思いを表現できる図画工作科学習指導法の 改善 －工作に表す活動における題材の開発を通して－
4	道徳教育	上 江 洲 洋 志 (霧島市立 富隈小学校)	自己を深く見つめ、共によりよく生きようとする力を高める道徳教 育 －自他とのかかわりの中で道徳的価値の自覚の深まりを実感し合う 道徳の時間の工夫を通して－
5	国 語	山 口 浩 之 (志布志市立 有明小学校)	論理的に考え、読みを深める国語科学習指導の創造 －叙述に基づいて、相互に考えを発言し合い練り上げる学習を通し て－
6	社 会	日 野 洋 隆 (鹿児島市立 皇徳寺中学校)	社会的事象について適切に表現できる生徒の育成 －歴史的分野の学習を通して－
7	数 学	齊 藤 歩 (南さつま市立 坊泊中学校)	数学的な表現力を高める学習指導の在り方 －図形領域において、説明し伝え合う活動や解決過程をまとめる活動 の工夫を通して－
8	国 語	鶴 長 隆 盛 (阿久根市立 阿久根中学校)	論理的な記述力を高める国語科学習指導の在り方 －文種の特徴に応じた文章作成指導の工夫を通して－
9	国 語	植 田 由 紀 子 (鹿児島県立 末吉高等学校)	主体的に考える力を育成する国語科学習指導の在り方 －文章を評価しながら読む言語活動の充実を通して－
10	公 民	池 之 上 博 秋 (鹿児島県立 鹿屋農業高等学校)	社会的事象を主体的に考察できる生徒の育成 －身近な地域素材を活用した課題解決的な学習指導法の工夫を通して－
11	特別支援 教 育	阿 久 根 剛 (鹿児島県立 鹿児島養護学校)	動作の不自由さに配慮した重複障害児の「遊びの指導」の在り方 －主体的に活動する力をはぐくむ授業づくりを通して－

番号	教科領域等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
1	理科	鎌田正樹	鹿児島市立郡山小学校	明確な根拠を基に考え、適切に表現できる子どもを育成する理科学習指導 ー6年「水よう液の性質とはたらき」の学習を通してー	本研究は、「明確な根拠を基に考え、適切に表現できる」子どもを育成するための指導の在り方について探ったものである。 具体的には、習得した知識・技能を生かしながら、解決の見通しを十分にもたせるための手だてや、筋道立てて自分の考えを述べたり、適切な表現方法を選択して表現したりできるようにするための教材の工夫をするなどの手だてを講じた。 その結果、これらの手だてを講じることは、先行経験を活用して自分の考えをもったり、目的に合わせて適切な表現方法を選択して自分の考えを整理し、他者に対して自分の考えを分かりやすく表現したりできるようにする上で有効であることが明らかになった。
2	音楽	肝付裕子	鹿児島市立石谷小学校	思いや意図をもって表現する音楽科学習指導の在り方 ーイメージと「音楽を形づくっている要素」を関連付ける学習活動を通してー	本研究は、子どもが思いや意図をもって表現する音楽科学習指導の在り方について研究したものである。 具体的には、曲の感じを表す言葉を分析し、曲の感じを表す言葉の一覧を作成した。それを基に、イメージと「音楽を形づくっている要素」を関連付ける指導法の工夫、自分の思いや意図を言葉で表し、表現活動に生かすための指導法の工夫を行った。 その結果、自分なりの思いや意図をもって表現活動に生かそうとする子どもの姿が見られるようになってきた。
3	図画工作	吉井雅彦	さつま町立求名小学校	子どもが主体的に自分の思いを表現できる図画工作科学習指導法の改善 ー工作に表す活動における題材の開発を通してー	本研究は、工作に表す活動における題材の開発を通して、子どもが主体的に自分の思いを表現できる図画工作科学習指導法の改善について研究したものである。 具体的には、子どもの興味や関心の高まりを持続させる題材設定の工夫や、発想や構想の能力を高める指導法の工夫をすることで、主体的に自分の思いを表現できる子どもが育成できるのではないかと考え、授業を通して検証した。 その結果、これらの二つの視点からの工夫が、主体的に自分の思いを表現できる子どもを育成する上で有効であることが明らかになった。
4	道德教育	上江洲洋志	霧島市立富隈小学校	自己を深く見つめ、共にによりよく生きようとする力を高める道德教育 ー自他とのかかわりの中で道德的価値の自覚の深まりを実感し合う道德の時間の工夫を通してー	本研究は、「自己を深く見つめ、共にによりよく生きようとする力」を高めていくための道德教育の在り方について研究したものである。 具体的には、書く活動を意図的・計画的に位置付けながら、道德的価値と教科・領域等とを関連付けた指導や同じ内容項目の繰り返し指導、自他とのかかわりの中で道德的価値の自覚の深まりを実感し合う道德の時間の工夫などを行った。 その結果、自己の気付きを書いたり自己や他者と繰り返し対話したりしながら道德的価値の自覚を深めるとともに、書いた内容を活用させることで道德的価値の自覚の深まりを共に実感し合い、認め合おうとする子どもの姿が見られるようになった。

番号	教科領域等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
5	国語	山口浩之	志布志市立有明小学校	論理的に考え、読みを深める国語科学学習指導の創造 －叙述に基づいて、相互に考えを発言し合い練り上げる学習を通して－	本研究は、詩や文学的文章教材において、叙述に基づいて、相互に考えを発言し合い練り上げる学習を通して、論理的に考え、読みを深める国語科学学習指導の在り方について研究したものである。 具体的には、読みを深める過程において、言葉を仲立ちにして伝え合う技能を向上させるとともに、相互の考えの共通点や相違点を明らかにして、根拠や理由を叙述に基づいて検討し合う討論の形式を取り入れた学習の場を工夫することによって、考えを練り上げ読みを深める力を育成できるのではないかと考え、授業を通して検証した。 その結果、これらの指導が、論理的に考え、読みを深める児童を育成する上で有効であることが明らかになった。
6	社会	日野洋隆	鹿児島市立皇徳寺中学校	社会的事象について適切に表現できる生徒の育成 －歴史的分野の学習を通して－	本研究は、歴史的分野において、諸資料の活用や表現活動の工夫を通して、社会的事象について適切に表現できる生徒を育成するための指導の在り方について研究したものである。 具体的には、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、諸資料を活用して様々な視点から考察・判断し、表現させる学習指導法の工夫を行うことで、社会的事象について適切に表現できる力を育成できるのではないかと考え、授業を通して検証した。 その結果、これらの指導が、社会的事象について適切に表現できる生徒を育成する上で有効であることが明らかになった。
7	数学	齊藤歩	南さつま市立坊泊中学校	数学的な表現力を高める学習指導の在り方 －図形領域において、説明し伝え合う活動や解決過程をまとめる活動の工夫を通して－	本研究は、生徒の数学的な表現力を高めるために、「図形」領域の論証指導において、自分の考えや理解したことを説明し伝え合う活動や、解決過程をまとめる活動を充実させる手だての工夫について追究したものである。 具体的には、二つの活動を「前時の学習の振り返りの場」、「相互解決の場」、「まとめと振り返りの場」に計画的・継続的に設定し、活動を充実させる手だてとして、学習形態、既習の内容を活用するシートの作成、活動に用いるシートの作成、評価活動の工夫を行った。 その結果、これらの指導が、相互に学び合う姿勢を高めるとともに、数学的な表現を適切に用いて、根拠を明らかにしながら、他者に分かりやすく説明できる力を高めるために有効であることが明らかになった。
8	国語	鶴長隆盛	阿久根市立阿久根中学校	論理的な記述力を高める国語科学学習指導の在り方 －文種の特徴に応じた文章作成指導の工夫を通して－	本研究は、文種の特徴に応じた文章作成指導を工夫することを通して、生徒の「論理的な記述力」を高める国語科学学習指導の在り方について研究したものである。 具体的には、論理的な文章を作成する際に留意すべき観点を設定し、明確化を図った文種の特徴に応じた学習活動や指導上の留意点を明らかにすることで、文章作成過程の各段階の指導の手だてを工夫し、批評文作成の授業を通して検証を行った。 その結果、生徒が文種の特徴に応じて構想を練り、構成や論理の展開を工夫するなどして論理的に文章を書くことができたことから、指導の手だてが有効であることが明らかになった。

番号	教科領域等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
9	国語	植田由紀子	鹿児島県立末吉高等学校	主体的に考える力を育成する国語科学習指導の在り方 －文章を評価しながら読む言語活動の充実を通して－	本研究は、主体的に考える力を育成する国語科学習指導の在り方について研究したものである。 具体的には、評価しながら読む言語活動を意図的・計画的に授業に組み込むことによって、生徒の主体的に考える力を育成することができるのではないかという仮説を立てた。評価しながら読む言語活動を組み込んだ現代文の指導計画例を作成し、第2学年の現代文の授業での実践を通して検証した。 その結果、評価しながら読む言語活動を意図的・計画的に授業に組み込むことが、生徒の主体的に考える力を育成するために有効であることが明らかになった。
10	公民	池之上博秋	鹿児島県立鹿屋農業高等学校	社会的事象を主体的に考察できる生徒の育成 －身近な地域素材を活用した課題解決的な学習指導法の工夫を通して－	本研究は、公民科「現代社会」において、「社会的事象を主体的に考察できる生徒」を育成するための指導の在り方について研究したものである。 具体的には、生徒が関心をもって取り組めるような身近な地域素材を活用した課題解決的な学習指導法を工夫することで、「社会的事象を主体的に考察できる力」が育成されるのではないかと考え、授業を通して検証した。 その結果、生徒の「社会的事象を主体的に考察できる力」の向上がみられ、身近な地域素材を活用した課題解決的な学習指導法が有効であることが明らかになった。
11	特別支援教育	阿久根剛	鹿児島県立鹿児島養護学校	動作の不自由さに配慮した重複障害児の「遊びの指導」の在り方 －主体的に活動する力をはぐくむ授業づくりを通して－	本研究は、重複障害児の「遊びの指導」において、主体的に活動する力をはぐくむ授業づくりの在り方について研究したものである。 具体的には、児童の見え方や姿勢、学習空間、コミュニケーション手段における動作の不自由さに配慮する必要があり、これらを踏まえた学習環境や教師の指導・支援の工夫改善を行えば、友達とのかかわり、自発的な動き、自己決定を効果的に促すことができるのではないかと考え、授業を通して検証した。 その結果、これらの工夫改善が、「遊びの指導」において重複障害児が主体的に活動する上で有効であることが明らかになった。